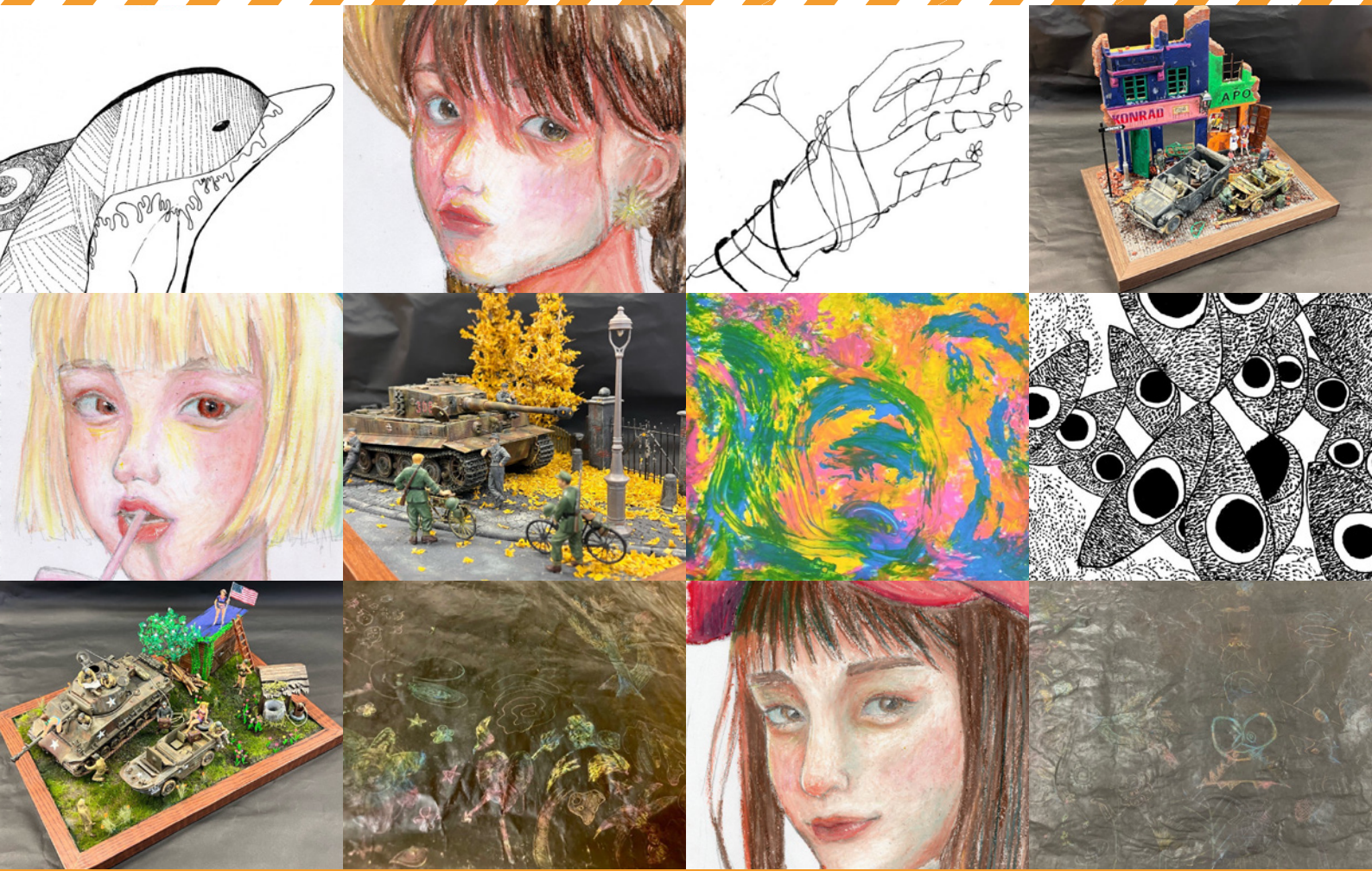


彩り

秋号

2023年度



- 【特集】コラボ企画「ここがスゴイよここらさん！」
- ねえ、きいて！「あなたのお仕事机見せてください！ vol.2」
- 読者アンケート 等

No.13

ここがスゴイよ
ここくらさん!



2023年7月2日、第32回埼玉県作業療法学会が日本医療科学大学で開催されました。学会での企画として、埼玉県作業療法士会のこころとくらしの地域支援推進委員会（通称：ここくら委員会）による『NO SAGYO.NO LIFE ~みんなの作品展示会~』が行なわれました。今回はここくら委員会に委員会の活動内容や今回の企画についてインタビューしました。



Q. 『こころとくらしの地域支援推進委員会』ってどんな委員会ですか？

埼玉県作業療法士会唯一の精神科領域の委員会です。今年度は、研修会の企画運営、精神科で働く作業療法士を中心とした交流会の開催、イベントへの参加、『NO SAGYO.NO LIFE ~みんなの作品展示会~』の運営などを行なっています。ここくら委員会は、当事者や支援者、領域や職種といったあらゆる枠組みを取り払い、個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合えるような「共生社会」実現に向けた取り組みを行なうべく、相互に知恵を出し合い、様々なテーマに向き合っていくことをモットーに活動しています。今後は、地域にでていき活動したいと思っています。一緒に活動していただけるメンバーを大募集中です!!!



Q. 『NO SAGYO.NO LIFE ~みんなの作品展示会~』を企画したのはなぜですか？



ここくら委員の思いつきです！きっかけは昨年の埼玉県作業療法学会で、その時のテーマが『原点回帰』でした。作業療法の原点は「作業」「作品作り」です。その時に「OTって作業大事じゃない？」「じゃあ作品展示会やろうよ」という話になり、「患者さんだけでなく職員も！みんなの作品を展示しようよ！」という流れで企画することになりました。





Q. 精神科作業療法士が大切にしている視点はなんですか？

その人と、その人の生活・人生とそれらの背景を大切にしています。

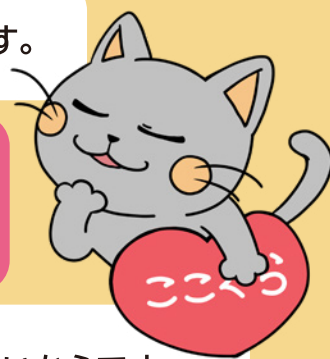


Q. 普段はどんな仕事をしていますか？

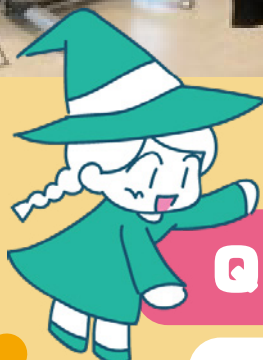
その人の生活や人生に関わる様々な作業の提案・提供を行なっています。

Q. 精神科作業療法で「作品づくり」を行なうことが多いのはなぜですか？

その人らしさや過程と結果が見えやすく、振り返りもしやすいからです。また、作品づくりや完成作品を介した交流、それらの交流による体験や気づきの機会を得られるためです。



こちらは『NO SAGYO.NO LIFE ~みんなの作品展示会~』の様子です！



Q. 今後の展望を教えてください♪

『NO SAGYO.NO LIFE ~みんなの作品展示会~』に作者を呼ぶことです！



拡大版

OT ギャラリー

—みんなの作品展—

『NO SAGYO.NO LIFE ~みんなの作品展~』の作品を一部ご紹介します！

【タイトル】 ①作者名 ②作者コメント ③担当OTコメント

『女性』



- ① ものたろう (15歳、女性)
- ② 『影や光を捉えることが難しく、どのようにして立体に見せようか、と苦労しました。』
- ③ クレヨン画です。色彩と表現の深みに圧倒されます。こんなものをOT中に見せられたら、もう私にできることはありません。ただただ多くの人の目に留まるよう裏方に回るのみです。私に見せてくれるまで自分の絵に自信がなかったそうです。信じられますか？彼女は絵画だけでなく造形の技術も素晴らしくて、今は球体関節人形の製作をしています。来年の学会をお楽しみに。



『変な絵』



全てを諦めた犬

視線と汚染

- ① HACO CO2 (15歳、女性)
- ② 『1枚に何時間もかかるんだよ。大変だったヨ。』
- ③ これもある日突然「ねえ見て。これ描いたの。」と見せられたものです。心臓に悪いです。画用紙にボールペンで描いたものなので、スキャンをしてPCに取り込み、ポストカードやうちわを作ったり、シルクスクリーンで布にプリントして、ポケットティッシュケースや巾着にしたりしました。彼女は、自身の心情、それを通して見える世界を、点と線のみで表現しています。私たちも幼いころには恐らく感じられていた、神秘的で、神聖で、不可思議な世界を、繊細に具現化してくれているのです。ありがたいことです。



『ピースフル・ジオラマ』



① チャボ軍曹（63歳、男性）

② 『日本は平和ボケしてるよね。災害とか、紛争とかで何か困らないと平和を感じられないでしょ？それじゃダメだと思っただよね。』

③ 我がOT室の“師匠”として君臨するアーティストです。これらは第二次世界大戦を舞台にしたミリタリージオラマ。戦場に生きる人たちの、束の間の平和な時間を切り取った作品です。戦場での平和、一見矛盾したテーマが、平和の大切さを際立たせています。師匠の凄さは、テクニックはもちろんなのですが、継続力にあります。一つの作品の完成までには、短くても半年はかかっています。焦らず、急がず、丁寧に、精魂込めて、時間をかけて、自身のイメージを形にしていく姿に、私たちOTはいつも励まされています。



『はなごよみ はなみち よぞら ゆめのなか』



▲ フィンガーペインティング



▲ スクラッチアート

① 狭山ヶ丘病院 第三・五・七病棟

② 第一段階（フィンガーペインティング）：『子どもに戻ったみたい。』『色が濃くならないように、均等になるよう調整した。』

第二段階（クレヨンでの黒塗り）：『クレヨンを無駄なく使いきれないと。』『塗りつぶすだけだから大変じゃないけど、いい運動になる。』

第三段階（スクラッチアート）：『友達の事を思い出して友達が手紙に書いてくるイラストを描きました。』『夢の中を想像して絵を描きました』『宇宙人を描いた。』

③ 制作には3つのグループに携わっていただきました。それぞれのグループでは同じ作業を行ないながらも、その人の回復段階にあった取り組み方で、侵襲性低く自身のペースで作業を進めながら作業の効果を感じていました。3つの病棟で創り上げた狭山ヶ丘病院の夢が詰まった作品になりました。

ねえ、 まいて!

作業療法
実録

あなたのお仕事机 見せてください! vol.2

私にも一応事務机は与えられてはいるのですが、ネコ神様を祀ってあるくらいでほとんど使っておりません。一日のほとんどをOT室か病棟、体育館、グラウンド、施設外（訪問など）で過ごしているからです。なので、私にとって仕事机はずばり、OT室であります。

お風呂がないくらいで、その気になれば十分ここで暮らせる設備が整っており、工具、材料、食材、調理器具、家電、楽器からネット環境も完備されていて、なんでもできる無敵スペースです。トイレにはリハフェスタで作った鳥居が設置されています。（置き場所に困ってここに置いているだけ）



地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立精神医療センター

埼玉県作業療法士会 **宇田 英幸** 会長

のお仕事机



ネコ神様



使われていない
きれいな仕事机...



楽器修理もお安い御用!



トイレ神社?

楽器に関しては、100人キャパ程度のライブに対応できるPA他、各種楽器を取り揃えています。メンテナンスに関しては、ギターのアンプ交換ができるくらいの工具は揃っています。アンプなどの電気工作もできます。

最近の会心作は、小学生の患者さんのために作った『お薬を飲む気にさせてくれる神様を祀るための神棚』でしょうか。退院した今も愛用してくれているそうです。

電動工具はハイコーキ（HIKOKI/日立）です。みんなの展示会でおなじみのチャボ軍曹さんに勧められました。大変使い勝手がよいです。患者さんの持ち物や病院の備品の修理もよくしますね。



クオリティも神級!



チャボ軍曹さんの
イチオシ工具

当センターのOTは個別対応なので、患者さんひとりひとりの希望や目標に沿った作業を取り入れるため、その都度材料や道具が増えてしまい、OT室はもう物であふれて大変です。最近断腸の思いで断捨離をしてこの程度です。いつも散らかっていて気にはなっているのですが、これが案外「なんか落ち着く」と、患者さんに評判がいいのが謎です。

この私の大切な仕事机、OT室をいつか街に出して、士会のみんなと運営するのが夢です。誰でもいつでも利用できて、自由になんでもできる街のOT室。その日がきたらぜひみなさん寄ってってください。今のOT室ここでは紹介しきれない面白さがあるのでいつでも見学に来てください。



このギッシリ感が...落ち着くのだ(^_^)

読者アンケート

広報誌「彩り」をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
この度、「彩り」の更なる彩り(向上)を目指し、

アンケートを実施しております!!

皆様のご回答を、彩りスタッフ一同、

心よりお待ちしております!!

読者アンケート



ここから
アクセス

何かすごいことを創り出そう。

アンケートにお答えいただいた皆様には、御礼の気持ちとしてをプレゼントいたします。希望される方はアンケート内に送り場所と名前のご記入をお願いいたします。





一人一人の頑張った証、生きた証として
作業療法をした思い出やその作品を
広報誌に投稿して頂けませんか？

誰かの経験が誰かの励みになる
誰かの称賛が誰かの励みになる
一人一人の作業で世の中を変える

埼玉県作業療法士会では広報誌を通して
作業療法に関わった方一人一人の人生を彩り
作業の輪を広げる活動を行っています



広報誌『彩り』は埼玉県作業療法士会の
ホームページからダウンロードできます
埼玉県内の活動紹介も是非ご覧ください

<https://www.ot-saitama.or.jp/>

OT埼玉

検索



saitama association of occupational therapists

あなたとともに歩む
あなたと社会を結ぶ
いつもの日常生活を援助させていただきます



一般社団法人
埼玉県作業療法士会

〒350-0435
埼玉県入間郡毛呂山町下川原912-5

電話/FAX：049-294-9900

E-Mail：jimukyoku@ot-saitama.or.jp